

方向器

20年12月23日
通算1035号

全日本建設交運一般労働組合
神田支部

〒101-0061千代田区神田三崎町3-2-4
電話 03-6674-2129
ファクス 03-6674-2986
メール kumiai@kanda-web.co.jp

20年末一時金総括 カンダ4社

10月4日の定期大会で確認された要求を10月14日に提出し、集団交渉2回・企業内交渉2回を開催し解決をめざしました。窓口協議で「コアテクノとレキスト間で売上付替え問題」が発生していたことが会社から報告され、月次資料が改ざんされていたことが発覚しました。売上付替え問題に対する経緯・過去利益分への対応・責任の所在を追及しなければならぬことを決定しました。会社を取り巻く上期の状況は、カンダ連結は減収増益、CPは減収増益、CTSは増収増益、KRSは増収増益の中で交渉となりました。

10月26日に行われた第1回目の交渉では、内示回答提示の前にレキスト元役員問題・コアテクノとレキスト売上付替え問題のコンプライアンス問題について追及を行いました。特に売上付替え問題では労使合意により月次資料に基づいて

団体交渉をおこなってきたが、改ざんがされておき過去の交渉（一時金、業績配分）の根拠が崩れたことを強調し、これまでの清算としてコアテクノの社員・新正社員への誠意・対応を強く求めました。その後の内示回答では2019年に比べ「CP・KBP新正社員+7, 597円、社員+7, 229円、CT新正社員+5, 902円、社員+6, 502円」「KRS新正社員+7, 597円、社員+7, 229円」「Paiトあおぞら会員は前年実績+500円（前年実績としない、昨年と実質同額）」が提示されました。

11月2日行われた第2回の交渉では、コンプライアンス問題についてCTの職場会から「会社からの指示（業務内容・残業削減）など聞いていたが、信用できなくなる。「ガツカリ」「悔しい」「ふざけるな」という感情があり、業務へのモチベーションが下がる」などの強い追及があったことを発言しました。また、Cの常任闘争委員からは「入社以来コアテクノ社員で働いてきたが、コアテクノ・レキストの社風の中で育ってきた。しかし、今回の問題で悪い社風が自分の中に培われているのが、カンダグループに迷惑をかけてしまっているのではないかと危惧している」と発言しました。経営からは「組合を騙したつもりはない。現在の労使関係は変わらざる維持していきたい」と発言があり、過去5年分のCPとCの回答額を差額相当分を算出してコアテクノの社員・新正社員への回答として「30,000円」を支給した。また、コアテクノの回答があり、役員から「この売上付替え問題については2回の交渉の中で組合及び組合員から厳しい意見を頂きました。今後はこのような不正がないように対応していきます。大変申し訳ございませんでした」と謝罪がありました。

修正内示回答の内容は前週対比で、「CP、KRS、新正社員は月数に+0.01か月・勤続年数区分に+500円し合計+1,172円、CTの新正社員は勤続年数区分に+1,000円、CP、KRS、KBPの社員は勤続年数区分に+1,000円、Cの社員は勤続年数区分に+500円」で、昨年比べ「CP、KRS、KBPの新正社員+8,765円、社員+8,229円」「CT新正社員+6,902円、社員+7,002円」となりました。組合側からは「第1回交渉後1週間で22職場83名に対して、職場の実態や一時金への期待の大きいこと、コロナ禍により影響を受けた営業所の業績配分除外、KRSの利益率の高さによりCP・KBPを超える上積み額を望む」と発言しました。

今回の年末一時金交渉では、企業内交渉1回目を闘争委員、2回目交渉を常任闘争委員で行いました。会社の業績を把握する月次資料が改ざんされているという前代未聞のことが発生し、これまでの団交の根拠が崩れる事態が発生しました。闘争委員会としては「ケジメ」である一律支給を解決として受け入れた。カンダ4社は新型コロナウイルスの経営への影響がなかったために新正社員・社員ともに前年突破をするこ

20年末一時金総括 関連会社分會

11月6日関連会社10社に対して一斉提出を行いました。10社中前年突破7社、前年実績1社で妥結しました。各社によって上期の業績や、支給基準・方法が異なる中で交渉を展開しました。前年突破した関連会社では+10,000円単位の積み戻しを引き出し、経営状況及び人手不足対策が図られた。新型コロナウイルスの影響を受けたPGE分会が新人事制度移行後初回ではあるが前年実績未達の妥結となりました。また、出版業務を主たるカンダ物流・ヤマナシ流通・関西配送・名岐物流サービスでは出版以外業務の売上利益により回答が分かれる結果となりました。不祥事があったレキストでは前年実績を突破したものの経営状況は好転しているわけではないので顧客交渉も含めて業績改善と企業統治が早急に求められています。同一労働同一賃金対策についてはカンダグループでの判断になることでカンダ4社賃金専門委員会での議論を行うことが重要であることが確認されました。

【第4回執行委員会】
編集 後記

年の瀬も押し迫ってまいりましたが組合員の皆さんは業務やプライベートでもお忙しいと存じますがいかがでしょうか。神田支部書記局では「方向器新年号」の編集作業が終了しました。発送作業は執行委員の皆さんに封入作業を手伝っていただきましたので、組合員の皆さん・建交労内組織など（約1,700通）を2021年元旦に郵送出来ませ

【書記局】
手から手へ仲間といっしょに読もう